

⑦ 周辺環境に対応した安全対策

辻建設株式会社
 左俣谷左岸護岸工及び底張工工事
 (工期:平成23年7月28日～平成24年3月30日)
 現場代理人・監理技術者 濱松 禎高

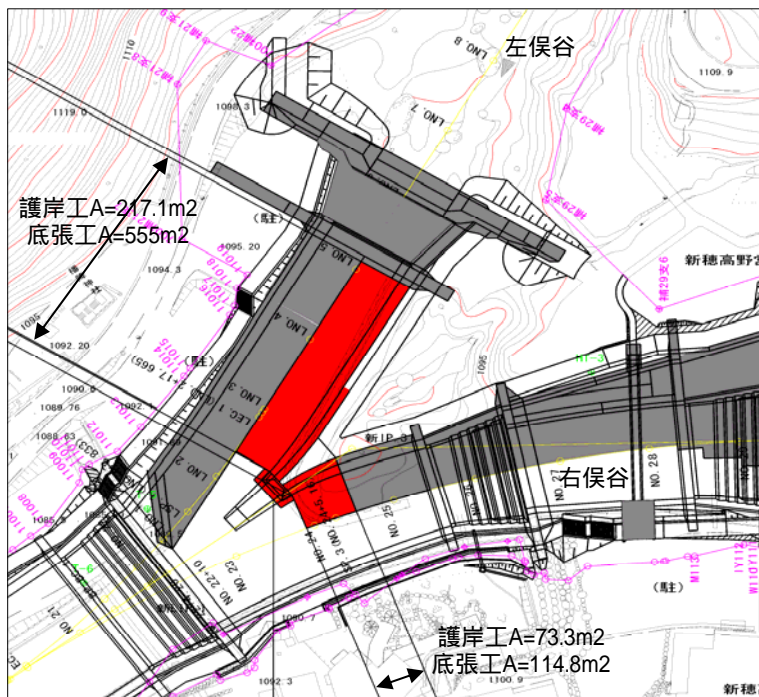


1) はじめに

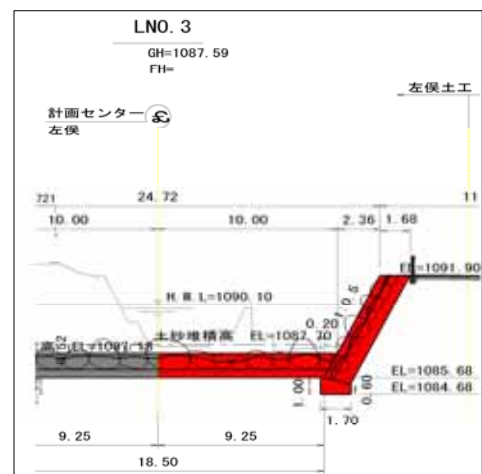
本工事は、北アルプス中部山岳国立公園内の蒲田川支流右俣谷・左俣谷合流部に位置し、豪雨による異常出水から河川を守り、地域の方々の安らかな暮らしと、豊かな自然を守ることを目的とした流路護岸を築造する工事です。

今年度工事では、流路護岸工の護岸工・底張工の工種が主な工事内容で、巨石及びコンクリートを扱う作業のウェイトが大きく、工事箇所周辺に新穂高温泉及び新穂高ロープウェイなどの観光施設があり、また、北アルプス登山の登山口でもあることから観光客・登山者が通行する場所と工事箇所が近接している為、観光客・登山者への安全対策について報告いたします。

(今年度施工箇所平面図)



(今年度施工断面図)



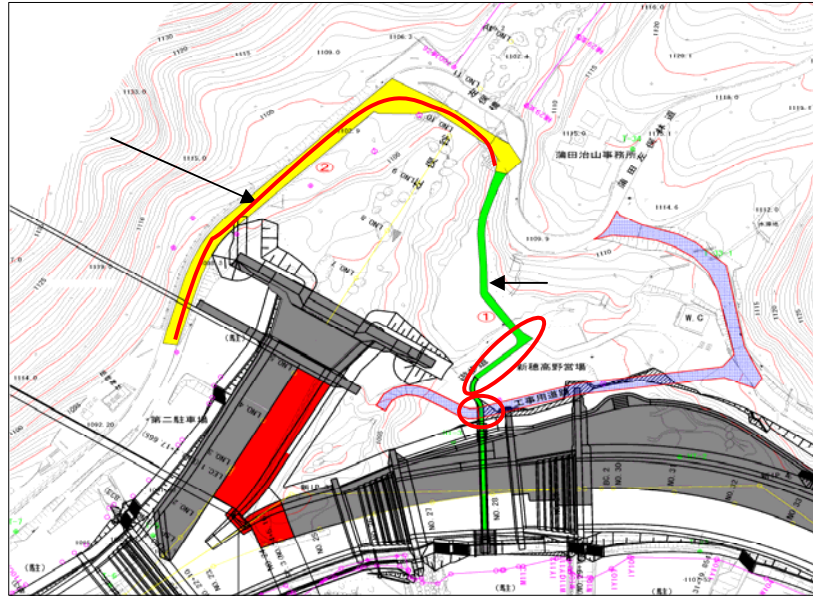
2) 工事概要

内 訳	数 量	単 位	工 種
コンクリート	767	m ³	流路護岸工
巨石積み	290	m ²	流路護岸工
巨石据付	670	m ²	流路護岸工

3) 登山者・観光客の通行経路と危険箇所について

) 観光客・登山者の通行ルート

幸橋を通り新穂高野営場を通過する遊歩道から蒲田左俣林道への登山道ルート
新穂高第2駐車場から市道を通り新穂高ロープウェイまでのルート



(観光客・登山者の通行ルート)

) 安全対策を必要とする工事箇所と近接する危険箇所について

- (1) 工事中道路と交差する幸橋の橋詰め
- (2) 新穂高野営場を通過する遊歩道
- (3) 資材運搬用の工事車両が通行する新穂高第2駐車場横の市道

4) 登山者・観光客への安全対策

(1) 工事中道路と交差する幸橋の橋詰め

交通誘導員の配置と工事中規制看板の設置

歩行者を優先し巨石・生コンクリートなど資材運搬車両の一旦停止、徐行を行なう。



(交通誘導員の配置)

防雨型赤外線センサー音声案内機の設置

幸橋付近の遊歩道と工事中道路の交差点部に防雨型赤外線センサー音声案内機(トークナビ)を取付け、通行者に音声により『危険です。遊歩道から出ないように』

して下さい』と呼掛けを行ない工事区域への立入り防止を図った。

【防雨型赤外線センサー音声案内機】



(防雨型赤外線センサー音声案内機の設置)

4カ国語看板の設置

言語の違う外国人観光客も含めて工事現場に立ち入ることの無いように日本語、英語、中国語、韓国語表記で規制看板を設置し、危険予防を図った。



(4ヶ国語規制看板の設置)

(2) 新穂高野営場を通過する遊歩道

二重防護柵の設置

新穂高野営場の遊歩道に設置してある既存のロープ柵(高さ60cm程度)を跨いで工事区域へ入らないようロープ柵に沿って木製バリケードを設置し、二重の立入り防止の防護柵にて工事区域と遊歩道を確実に分離した。

遊歩道の夜間照明

遊歩道には、夜間照明が無いので夕方近くや早朝の暗いうちに行動する登山者が工事箇所を迷って立入らないよう遊歩道外柵に白色のLED灯を取付け安全に通行できるよう誘導する。

また、ホテル・宿泊施設の近くで山紫水明の地であることから工事現場を印象づけ

ないような照明とし、点灯時間もタイマーセットにより午後4時から9時、午前3時から午前7時の間の点灯とした。



(ロープ柵・木製バリケードの二重防護柵の設置)



(白色LED灯の設置)



(LED灯)

(3) 資材運搬用の工事車両が通行する新穂高第2駐車場横の市道

新穂高第2駐車場からの市道を通行中の歩行者、登山者と車道をカラーコーンで区分・分離すると共に歩行者通路看板、徐行看板、駐車禁止看板を設置した。



(歩行者通路の設置)



(歩行者通行状況)

5) おわりに

観光施設に近接した場所で工事を行なう上で決して第三者災害を起こさないよう作業員共々細心の注意を払い、危険要素を排除し、安全に対して創意工夫を施して工事完工を目指して工事を進めていきたいと思っております。

関係各位の皆様方には、今後も何卒ご指導下さいますよう、宜しくお願いいたします。